

法人概要

名 称	一般社団法人 読書認定協会 （非営利型法人）
所在地	神奈川県藤沢市辻堂元町 5 丁目 7 番 3 号
設 立	2016 年 11 月 17 日
代表理事	神部 ゆかり
理 事	杉本 啓子、 野澤 直美

読書するきっかけに

読Qは、あなたの読書歴を証明する、ウェブ検定級です。

英検や漢検のように、もしも読書歴が資格として認められるようになれば、

人々がもっと読書するきっかけになる、と考え、この検定システムを作り上げました。

読Qは、ストーリークイズに合格して本を読んだことを証明し、それを積み重ねることで、級が上がります。

利用者は、好きな本の検定クイズを作することもできます。

読Qを使って、共に読書と読書推進をしていきましょう。



代表理事 神部 ゆかり

A I の時代に、人間にしか担うことのできない能力は何でしょう。それは思考・判断力、読解力、広い視野、寛容、共感力、情緒、芸術…等々、多岐にわたる教養ではないでしょうか。これらは、読書によって培われると言っても過言ではありません。読書は、著者の思考の疑似体験であり、優れた人の話す話をじっくりと聞くようなものです。そのような体験を重ねると、自分の頭で考え、的確に判断する力が高まります。著名な方々が例外なく沢山の本を読んできていることから、それは明らかです。もしかしたら、今は恵まれない環境にある人も、読書をして思考力を高めることで、いつか状況を変えることができるかもしれません。そのようにして困難を克服した方もきっといらっしゃるでしょう。

そんな人間力や教養、これらは目に見えませんが、読書履歴によって、ある程度は証明できると思いませんか。例えば特定分野の読書歴が多いことを証明できれば、専門家を名乗れるかもしれません。専門家として自説を公開し、人々を説得できるかもしれません。また、もしあなたが経営者なら、良い本や必読書をたくさん読んでいる人を迎え入れたいと考える

のではありませんか？読書履歴は、誇るべき資格となり得ます。検定級として証明できる形にして、たくさん読書をしていることをアピールできるようなシステムがあつたら良いのではないのでしょうか。

私は三人の子に読書中心の家庭教育をし、時には小中学生向けの読解力教室を主宰するうちに、このような考えに至りました。そして、人々が読書をするきっかけを作って読書を推進する「読Q」を発案しました。読Qは、日本語で読書できる全ての人を対象としたウェブ検定システムです。本のストーリーに関する〇×クイズに合格して、読了の証明を得てポイントを獲得し、級を上げます。読書(合格)履歴を公開したり、ランキンググラフなどで読書量を競争することもできます。読書認定書を発行して読書履歴を提出することもできます。学校利用では一斉受検にも対応しており、クラス内、クラス対抗、学校対抗ランキングなどによって読書意欲を高めることができます。また将来は、蓄積したデータが、読書と知能の相関関係などの研究に一役買うこともあるかもしれません。

この画期的な読書の検定ウェブサイト「読Q」は、読書へのモチベーションを持続するための工夫をこらした機能を満載しており、数年間に渡ってシステム開発会社との膨大なやり取りを重ねて完成しました。完成したと言っても読Qには完成形はありません。読Qは、コンテンツをみなさんに作って増やしてもらいつつ、検定テストも実施するという、みんなで作ってみんなで受ける、無限に成長する検定なのです。小学生もお年寄りも、みんなが受検できるし、みんながクイズを作れます。みなさんが、好きな本を選び、そのストーリークイズ問題を作り、出題クイズを最終決定します。読Qは読書推進活動であり、読書推進は法律にも制定されているほど重要な務めです。検定クイズを作ることは、読書推進という立派な社会貢献活動です。クイズ作成者と本の登録者は、功績の証としてサイト上に名前を掲載することができるようにしました。

ぜひ図書館や書店やうちの蔵書から良書を選び、読んで、読Qに登録して、検定クイズを作りましょう。読QはPCでもスマートフォンでも利用できます。家の中にいても、ベッドの上でもできるボランティアです。ぜひあなたの読書を社会貢献にしてください。

そして、本を読んだら検定クイズを受検して、合格を重ねて読級を上げましょう。合格履歴(読書歴)を公開して、あなたの教養を証明しましょう。

なお、違う形の社会貢献として、読Qでは、低所得家庭のお子さんの会費を肩代わりする、あしなが援助金という制度があります。月100円の会費を200円にするだけで、1人のお子さんの読書活動を応援することができます。名前非公開ですが、そのお子さんの公開している読書履歴などを垣間見ることも可能です。

読Qは、他に類を見ない初めての試み満載の読書推進ツールです。受検料は無料ですが、会費と広告掲載収入をシステムの維持運営費に充てさせていただいております。少人数運営のためご不便をおかけする場合があります。本当に申し訳ございません。しかしながら、今後も皆さまからのご指導ご鞭撻と温かいご支援ご協力をいただきつつ、現存する全ての本を読Qの検定クイズにする勢いで精進し、読Qを社会に有用な検定システムへと成長させたいです。

読Qがあることで、みなさまの人生を少しでも良いものにできたなら、本当に幸せです。

読書の検定「読Q」を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人読書認定協会

代表理事 神部 ゆかり



理事 杉本 啓子

初めて読Qの構想を神部から聞いた時、私はとても驚きました。自分の読書履歴を正に評価してもらえるシステムなど聞いたことも無く、調べてみましたがおそらく世の中で初めてだろうと確信したからです。そんな高質な検定級のシステムを私たちが作ろうとお誘いを受けた時、とてつもなく世界が広がって行くのを感じました。

もともと私も読書に救われてきた人間でしたので、彼女と作り上げるこのシステムによって、きっと読書を好きになる人が増え、色々な分野で賢くなる人が増え、読書が人生の救いになる人もいて、世の中がもっともっと良くなるかもしれない、と思えました。それに、これは日本だけに留まらず、海外在住の日本の方々や、日本語を本気で学びたい外国の方々のお役にも立てる素晴らしいウェブサイトだと思いました！

私たちが考案した読Qは、人々にとって有益な検定にするために、詳細を作り込んでいます。読Qでは、簡単な本と難しい本、薄い本と厚い本では、得られる読了ポイントが大きく違います。読Qの読書認定級は、本の登録に時間をかけるので、読書の量と質を正當・公平に評価・証明できます。

そして読Qは、読めば読むほど、受検すればするほどお得です。それは、システム利用料としての会費が毎月100円(年額1000円)の定額制なので、本を多く読んで多く受検する人ほど、1回分の受検料が安くなる計算です。

こだわったのは、ウェブでの受検であっても、正式な検定として世の中に認めてもらうために、試験監督ボランティアによる受検見守りで、不正合格を防ぐことを必須としたことです。読Qの検定は、スマホやタブレット、PCでの、5分程度で終わる〇×クイズです。それを、家族以外の20歳以上の会員が試験監督としてそばで監視します。受検者と試験監督両方が顔認証で本人確認する点や、ウェブならではのランダム出題も、会場受検に劣らない検定システムだと自負しております。その上、例えば万万が一に、とある試験監督が受検者の不正を許したとしましょう。しかしながら読級は合格ポイントを積み上げていく息の長い検定級ですし、同じ本の検定は時間を置けば何度でも受検できますので、検定1回1回の重要度はさほど高くないと言えます。受検記録は試験監督名とともに残ります。読書を証明する検定は、ウェブで実施することが正解だと、私たちは確信しています。

このように読Qは、「人々が読書するきっかけ」になり続けることを目指して、機能満載の検定&読書推進システムに仕上がりました！

読書の検定「読Q」を使って、ぜひ、自分たちで自分たちを成長させて行きましょう！

読Qを、どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人読書認定協会

理事 杉本 啓子

私たちが感銘を受けた、読書をすすめる著名人のことばを紹介します

人との、また物ごととの出会いは、大切なものです。本を通して先人とも出会えます。(中略)そういうあらゆる体験を通して人間は発達成長します。そうすれば、あとは自分で自分を開発することができるのです。

日野原重明さん「今日すべきことを精一杯！」ポプラ新書より

読書を代表とする疑似体験は、実体験に比べれば概して深さも強烈さもはるかに小さく、人間の教養を豊かにする力としては微々たるもの、という声が聞こえてきそうです。(中略)でも、自ら求めさえすれば実体験の百倍に上る回数を体験することも可能です。そうすれば実体験だけの人に比べ十倍の教養を得ることができることになります。特に疑似体験の柱となる読書なら時間も金もさほどかかりませんから、いくらでも重ねることが可能です。

藤原正彦さん「国家と教養」新潮新書より

幅広くいろいろな本を日頃から読み、仕事と真剣に向き合っている人は、自分の考えや信念を持っているから、安易に空気に流されるようなことはないはずです。読書は心を自由にしてくれます。読書によって自分の考えが練られ、軸ができれば、空気を中心に思考したり行動したりすることはなくなるはずです。世間の常識や空気に囚われない、真の自由を読書はもたらすのです。

丹羽宇一郎さん「死ぬほど読書」幻冬舎新書より

(読書は)思考力を鍛え、人間をつくるものだ。(中略)私は自分の思考力の重要な部分を読書経験に負っていることをはっきりと感じている。したがって、読書をするきっかけを与えてくれた親や教師、周りの環境に感謝している。読書は放っておいても自然にするものだ、などということは大きな勘違いだ。

齋藤孝さん「読書力」岩波新書より

読書によって、世の中には自分とまったく違う考えの人間がいるのだということを理解し、広く受け入れる寛容の心が育ち、人間への洞察力がついていきます。立場の違う人を理解する共感力、すなわち情緒的読解力が身につくのです。(中略)

子ども向けの各種調査において、「読書が好きな子は読解力がある」「読書が好きな子は国語も数学も英語も成績がよい」という結果が出ていて、読書の重要性がわかっています。

池上彰さん「なぜ読解力が必要なのか」講談社プラスα新書より

脳にとって読書は、総合的かつ抽象的な刺激。視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚という五感の記憶が総合されて、それが言葉になるので、言葉をとおして世界を知る、整理するというのは、脳のいちばん高度な働き。

茂木健一郎さん「読書が脳に与える良い影響」ベネッセ教育情報サイトより

読書によって人は賢くなることを明らかにした大規模調査結果の記事をご紹介します

2018 年 10 月 18 日(木) NEWSWEEK 日本版 松丸さとみ

31カ国、16万人を対象に行われた調査で、16歳のときに本が家に何冊あったかが、大人になってからの読み書き能力、数学の基礎知識、IT スキルの高さに比例することが明らかになった。

自宅に紙の本が何冊あったかが一生を左右！？

16歳の時に家に本が何冊あったかは、大人になってからの読み書き能力、数学の基礎知識、IT スキルの高さに比例することが、このほど行われた大規模な調査で明らかになった。研究者らは、「子どもの頃に自宅で紙の本に触れることで、一生ものの認知能力を高めることができる」としている。

調査を行ったのは、オーストラリア国立大学とミネバダ大学の研究者たちだ。2011～2015 年に31の国と地域で、25～65 歳の16万人を対象に行われた「国際成人力調査」のデータを分析した。結果は学術誌ソーシャル・サイエンス・リサーチに発表されている。英ガーディアン紙が2018 年 10 月 10 日付と 12 日付で報じた。

調査では、16歳の時に自宅に何冊本があったか、と参加者に質問。その後、読み書き能力、数字、情報通信技術(ICT)のテストを受けてもらった。

その結果、本がほぼない家庭で育った場合、読み書きや算数の能力が平均より低かった。自宅にあった本の数とテストの結果は比例し、テストが平均的な点数になるのは自宅に80冊ほどあった場合だった。ただし350冊以上になると、本の数とテスト結果に大きな関係性はみられなくなったという。〈以下省略〉

2021 年 9 月 5 日(日) NHK NEWS WEB

家に本が多いほうがテストの正答率高い？ 文科省調査

文部科学省が全国の小中学生を対象に「家庭の蔵書数」を初めて調査したところ、25 冊以下が 3 割を占めた一方、蔵書数が多いほうがテストの正答率が高くなる傾向が明らかになりました。

文部科学省はことし 5 月、全国の小学 6 年生と中学 3 年生の 200 万人以上を対象に「全国学力テスト」を実施し、家庭の経済的、文化的な資本をはかる指標の 1 つとして、国際的な調査でも用いられる「家庭の蔵書数」を初めて調べました。

その結果、家にある本の数が、▽0～10 冊と答えたのは小学生で 11%、中学生で 14%、▽11～25 冊が小学生で 19%、中学生で 20%で 25 冊以下と答えた子どもが 3 割を占めました。

▽26～100 冊が小学生で 34%、中学生で 32%、▽101～500 冊が小学生で 32%、中学生で 30%

▽501 冊以上が小中学生とも 5%でした。

学力テストの正答率をみると、小学校の算数では、蔵書数が最も多い子と最も少ない子では 18 ポイントの差があり、中学校の国語でも 15 ポイント差が開くなど、蔵書数が多いほうが正答率が高くなる傾向が見られました。

教育社会学者の早稲田大学の松岡亮二准教授は「国の大規模な調査で家庭環境により学力に差がある事実が示された意味は大きく、困難を抱えている子どもの実態を踏まえ政策を議論してほしい」と話しています。